

# デカ 7 セグ LED 基板 ライブラリ

## 取扱説明書

2019/08/08 R01

Assembly Desk

デカ 7 セグ LED 基板 ライブラリを使用すると、弊社製 デカ 7 セグ LED 基板から LED を制御する Windows アプリケーション(x86 版)を簡単に作成することができます。

ライブラリの使用方法は、サンプルコード (C#) を参照してください。ライブラリ関数の仕様は以下の通りです。

関数名	Open7SEGLED	
概要	デカ 7 セグ LED 基板と接続をします。	
宣言	SafeFileHandle open7SEGLED (IntPtr hRecipient)	
戻り値の型	意味	
SafeFileHandle	USB DEVICE のハンドルを返します。失敗したら NULL を返します。	
引数の型	引数の名称	説明
IntPtr	hRecipient	ウィンドウハンドルを指定します。
※この関数は、デカ 7 セグ LED 基板が接続しているかの確認にも使用できます。接続している場合は、USB DEVICE のハンドルが返り、未接続の場合は NULL が返ります。		

関数名	Close7SEGLED	
概要	デカ 7 セグ LED 基板との接続を切断します。	
宣言	int close7SEGLED (SafeFileHandle HandleToUSBDevice)	
戻り値の型	意味	
int	関数が成功すると 0 が返ります。失敗すると-1 が返ります。	
引数の型	引数の名称	説明
SafeFileHandle	HandleToUSBDevice	USB DEVICE のハンドルを指定します。

関数名	Write7SEGData	
概要	7 セグ LED 列にデータを表示します。	
宣言	int Write7SEGData(SafeFileHandle HandleToUSBDevice, String setData)	
戻り値の型	意味	
int	関数が成功すると 0 が返ります。失敗すると-1 が返ります。	
引数の型	引数の名称	説明
SafeFileHandle	HandleToUSBDevice	USB DEVICE のハンドルを指定します。
String	setData	表示するデータを指定します。 最長 32 文字の String データを格納し、引数に与えてください。 入力可能なデータは 数字'0'~'9'、アルファベット'a'~'f'、'.'(ピリオド)、空白

関数名	SetZeroPlaceholder	
概要	ブランク部分の表示を設定します。	
宣言	int SetZeroPlaceholder(SafeFileHandle HandleToUSBDevice,bool config)	
戻り値の型	意味	
int	関数が成功すると 0 が返ります。失敗すると-1 が返ります。	
引数の型	引数の名称	説明
SafeFileHandle	HandleToUSBDevice	USB DEVICE のハンドルを指定します。
boolean	Config	FALSE でブランク部分に空欄を、 TRUE でブランク部分に'0'を表示するよう設定します。

関数名	Read7SEGData	
概要	表示中のデータを取得します。	
宣言	int ReadUSBLEDDData(SafeFileHandle HandleToUSBDevice, ref String recData)	
戻り値の型	意味	
int	関数が成功すると 0 が返ります。失敗すると-1 が返ります。	
引数の型	引数の名称	説明
SafeFileHandle	HandleToUSBDevice	USB DEVICE のハンドルを指定します。
String	recData	取得した表示中データを格納するための String 変数を指定します。

関数名	Reset7SEG	
概要	表示中のデータを消去し、表示をリセットします。	
宣言	int Reset7SEG(SafeFileHandle HandleToUSBDevice)	
戻り値の型	意味	
int	関数が成功すると 0 が返ります。失敗すると-1 が返ります。	
引数の型	引数の名称	説明
SafeFileHandle	HandleToUSBDevice	USB DEVICE のハンドルを指定します。

## ●更新履歷●

[illegible]